

職務経歴書 記入例

2026 年 9 月 1 日現在 氏名 研究 太郎（架空）

会社名、氏名、年月、業績、数値を含め、すべて説明用に作成した架空の例です。本人の実績として転用せず、構成と書き方の参考にしてください。

職務要約

素材メーカーの研究開発部門で 3 年間、樹脂材料の評価と測定工程の改善に従事しています。5 名のチームで試験計画、試料作製、測定、統計解析、技術報告を担当しました。試験条件ごとのばらつきを整理し、追加検証する候補の選定と測定手順の統一につなげました。

勤務先と担当

在籍期間 2023 年 9 月～現在 雇用形態 正社員

勤務先 素材メーカー A 社（架空） 機能性樹脂の研究開発部門

役割 研究担当 チーム 5 名 試験計画から技術報告までを担当

研究テーマ 1

期間とテーマ 2024 年 4 月～2026 年 3 月 樹脂材料の耐久性評価

課題と目的 候補材料ごとの性能差と測定ばらつきを分けて把握し、次の検証候補を選ぶこと。

自分の担当 比較試験の計画、試料作製、測定、データ整理、結果報告。候補の最終選定は主任と製品担当が実施。

方法と条件 材料 3 種類と処理条件 4 種類を組み合わせ、各条件 3 試料、計 36 試料を評価。比較条件をそろえ、平均値とばらつきを集計。

成果と役割 性能とばらつきを整理した評価表と技術報告書を作成。これらを用いてチームが追加検証する 2 条件を選定。製品化と売上への影響は未評価。

研究テーマ 2

期間とテーマ 2023 年 10 月～2024 年 3 月 測定記録の集計手順の統一

課題と担当 担当者ごとに異なる記録形式を整理。測定担当 3 名へ必要項目を確認し、共通様式と集計処理を作成。

方法と成果 過去 20 記録を使い、手計算と自動集計を照合。記入漏れの検知機能と操作手順書を整備し、部内の試行運用に採用。

活かせる機器 操作技術 解析スキル

機器や技術	経験期間	自分でできる作業と使用目的
引張試験機	3 年	試料準備、条件設定、測定、応力とひずみの整理を単独で実施。校正は管理担当と確認。
熱分析 DSC	2 年	所定手順での測定と熱転移の比較を担当。新しい解析条件の判断は熟練者と確認。
Python	2 年	pandas による測定値の集計、グラフ作成、欠損確認。手計算との照合と例外処理を実装。
技術報告 部門連携	3 年	試験条件、結果、限界、次の検証案を技術報告に整理。製品担当との結果共有を実施。

研究業績

社内技術報告書の作成を担当。テーマ 1 では試験計画、測定条件、36 試料の結果、候補選定の根拠を記載しました。社外公表した論文、特許、学会発表はありません。

守秘情報を含む社内資料の持ち出しは行わず、面接では公開可能な範囲で担当工程と判断方法を説明します。

資格と語学

統計検定 2 級 2025 年 6 月取得（架空）

英語論文の読解と要点整理を業務で実施。英語会議の進行や交渉は未経験です。

自己 PR

比較の前提をそろえ、判断に使える記録を残すことが強みです。耐久性評価では、材料差と測定ばらつきを混同しないよう試料数と処理条件を定め、結果と追加検証が必要な点を評価表にまとめました。自分の測定結果だけで結論を出さず、主任と製品担当の確認を経て次の候補選定につなげました。

応募先の材料評価業務でも、試験条件の整理、再現性の確認、解析、結果報告までを担います。量産条件の立ち上げは未経験のため、工程制約について製造担当に確認しながら評価計画へ反映します。